

2016年度（2017年3月期）
決算説明会

2017年5月11日

決算及び見通しの説明

- (1) 第6次中期経営計画進捗状況
- (2) 2016年度決算内容
- (3) 2017年度の見通し

(1) 第6次中期経営計画進捗状況

(億円)	2016年度 実績	2016年度 中期計画	増減	2018年度 中期計画
売上高	2,571	2,900	△328	3,100
営業利益	74	120	△45	170
%	2.9%	4.1%	△1.2p	5.5%
経常利益	66	120	△53	180
%	2.6%	4.1%	△1.5p	5.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	100	△46	125
%	2.1%	3.4%	△1.3p	4.0%

(億円)		2016年度 実績	2016年度 中期計画	増減	2018年度 中期計画
ウォッチ 事業	売上高	1,345	1,600	△254	1,900
	営業利益	76	120	△43	170
電子デバイス 事業	売上高	840	900	△59	750
	営業利益	38	30	+ 8	25
システムソリューション 事業	売上高	202	200	+ 2	250
	営業利益	12	10	+ 2	15
その他	売上高	270	290	△19	300
	営業利益	3	10	△6	10
連結計	売上高	2,571	2,900	△328	3,100
	営業利益	74	120	△45	170

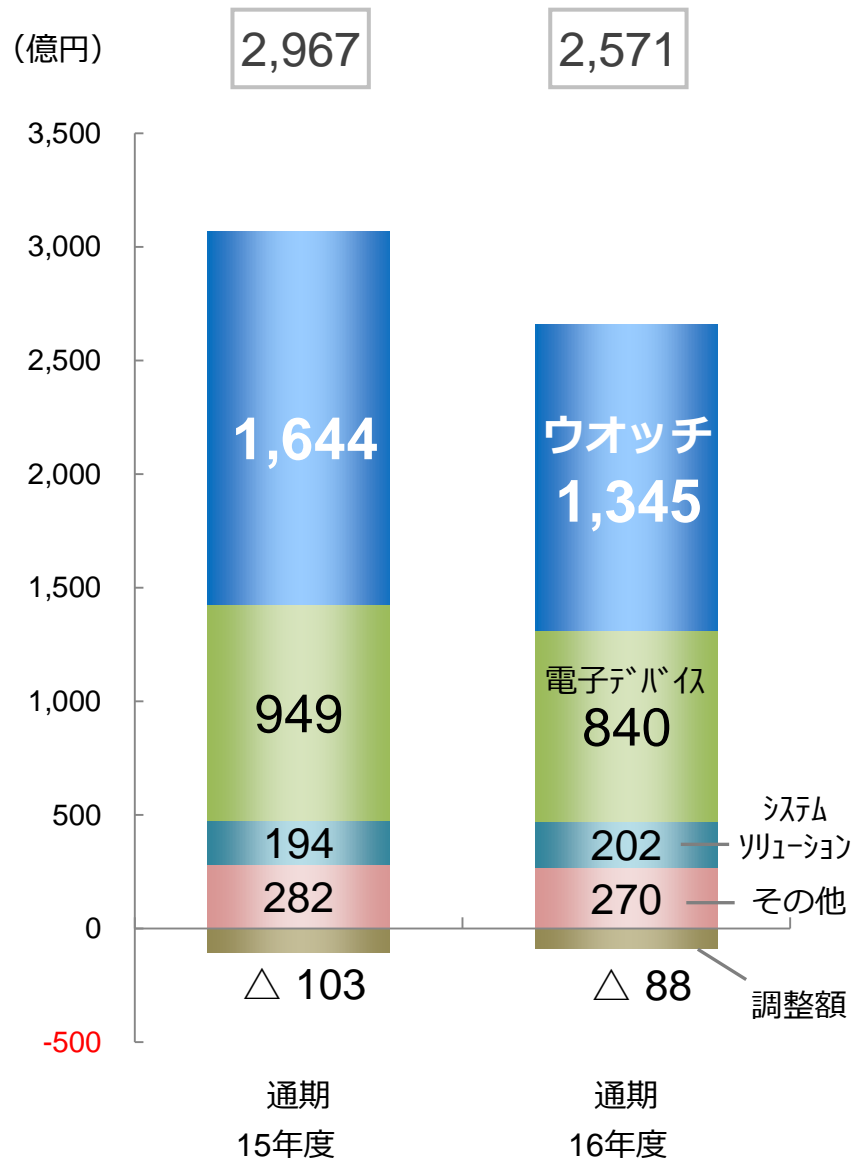
(億円)	2016年度 実績	2018年度 中期計画
総資産	3,288	3,400
純資産	1,071	1,200
自己資本比率	29.8%	35.0%
剰有利子負債	1,012	750以下

(2) 2016年度 決算内容

2016年度 損益 – 通期 (4月-3月) –

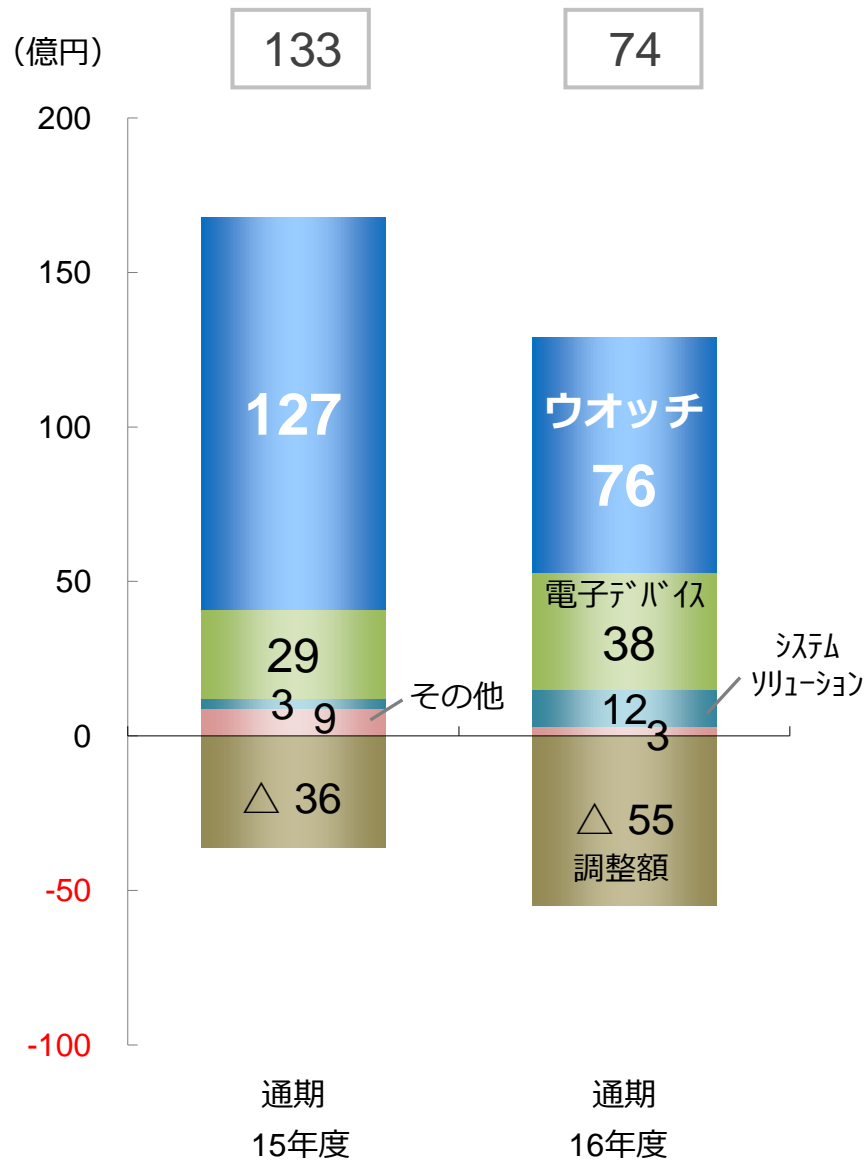
(億円)	15年度 (通期)	16年度 (通期)	増減			
			増減額	増減比		
売上高	2,967	2,571	△395	△13.3%	売上高： 対前年 △395 為替による影響 約△140 外販グループの取扱商品 縮小と大判プリンタ事業 譲渡の影響 約△145	
売上総利益	1,085	962	△122	△11.3%		
営業利益	133	74	△58	△43.7%	営業利益： 対前年 △58 売上総利益減少 △122 経費減少(販売費等) +64	
%	4.5%	2.9%	△1.6p	—		
経常利益	118	66	△52	△43.8%	経常利益： 対前年 △52 営業利益減少 △58 支払利息減少 +3 為替差損益改善 +7 持分法投資損益悪化 △1 受取配当金減少等 △3	
%	4.0%	2.6%	△1.4p	—		
税前利益	88	61	△27	△30.9%		
親会社株主に帰属 する当期純利益	121	53	△67	△55.6%		
%	4.1%	2.1%	△2.0p	—		
換算 レート	USD	120.1	108.3	△11.7	△9.8%	特別損益内容： △5 特別利益 4 固定資産売却益 4 特別損失 △10 事業再編費用 △4 特許契約関連和解金 △5 事業構造改善費用 △1
	EUR	132.5	118.7	△13.8	△10.4%	

事業別売上高 - 通期 (4月-3月) -



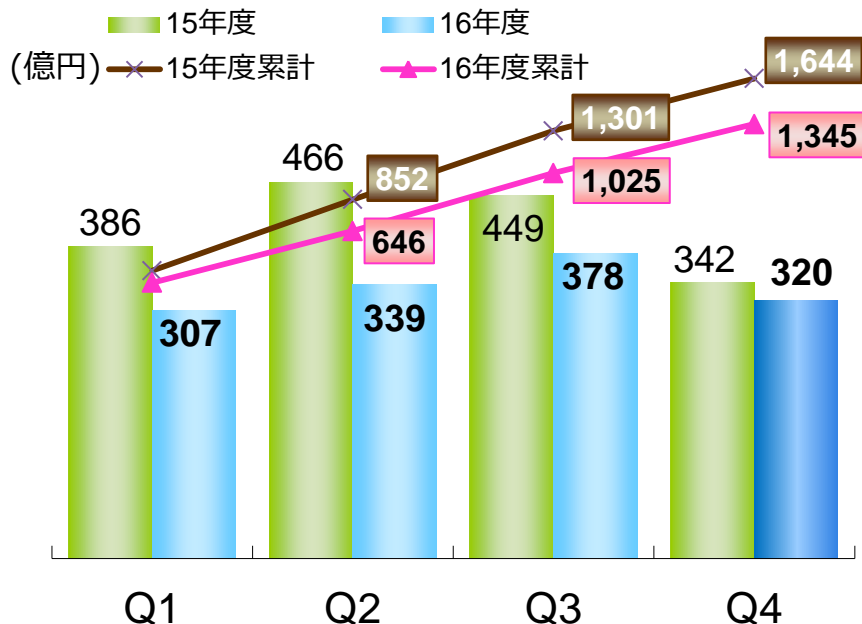
(億円)	売上高		
	15年度 (通期)	16年度 (通期)	増減
ウオッチ事業	1,644	1,345	△298
電子デバイス事業	949	840	△108
システムソリューション事業	194	202	+8
計	2,788	2,389	△398
その他	282	270	△11
調整額	△103	△88	+14
連結計	2,967	2,571	△395

事業別営業利益 – 通期（4月-3月） –

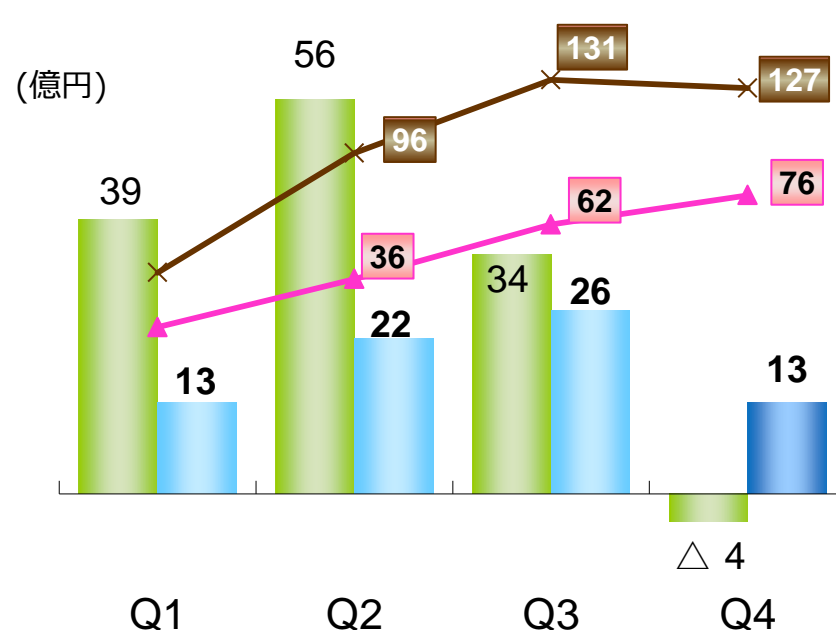


(億円)	営業利益		
	15年度 (通期)	16年度 (通期)	増減
ウォッチ事業	127	76	△51
電子デバイス事業	29	38	+8
システムソリューション事業	3	12	+9
計	160	127	△32
その他	9	3	△6
調整額	△36	△55	△19
連結計	133	74	△58

売上高

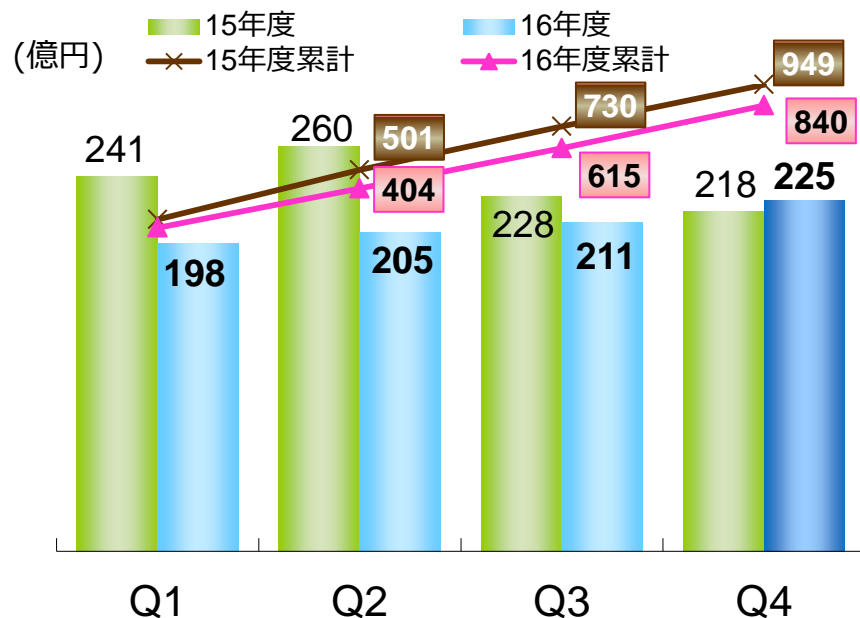


営業利益

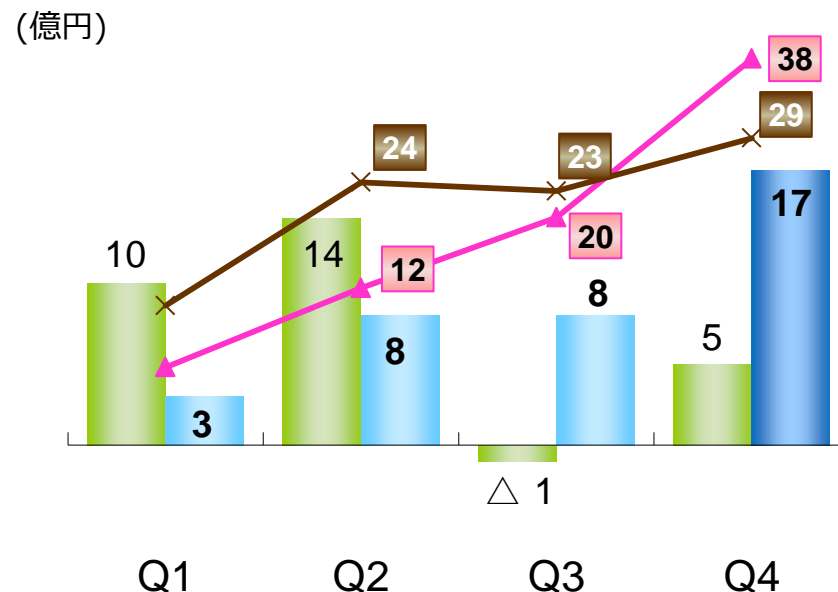


- ・ 完成品ウォッチ： インバウンド需要の後退、個人消費の低迷による高級品の伸び悩み（国内）などにより、売上高は減少。
- ・ 完成品ウォッチ： 円高の影響や米国市場におけるデパート流通の落ち込みなどにより売上高が減少。現地通貨ベースでは、ドイツ、オランダ、タイなど多くの国や地域で売上を伸ばし、堅調に推移。
- ・ ムーブメント： 取扱商品の商流変更の影響のほか、米国・中国市場の低迷等により収益悪化。

売上高

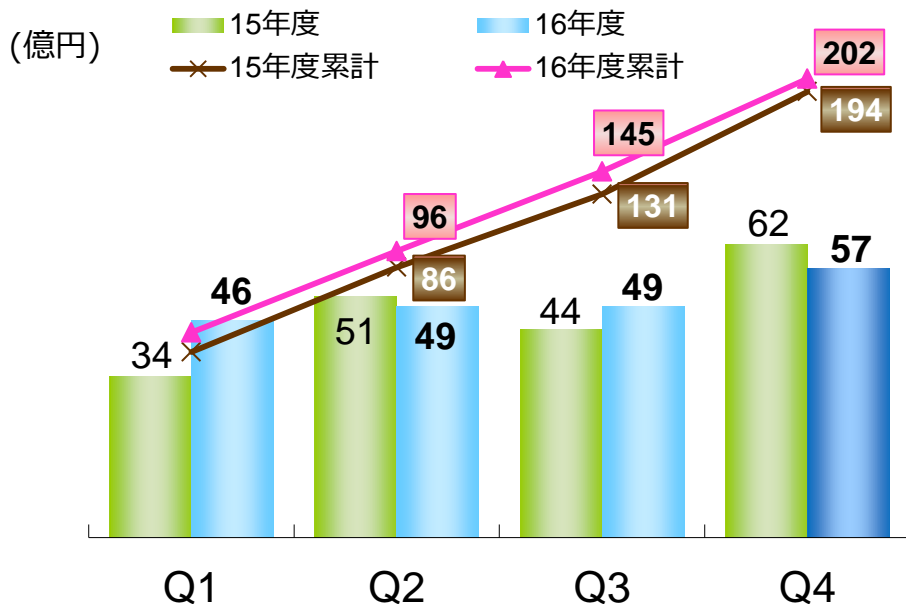


営業利益

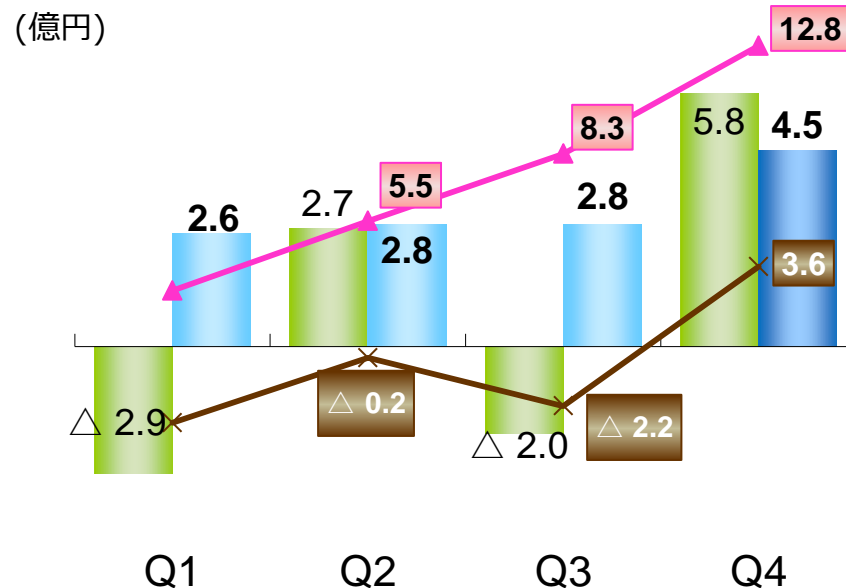


- ・事業全体では円高の影響や2015年10月の大判プリンタ事業の譲渡などにより、売上高は前年未達。
- ・半導体はスマートフォン向け部品などを中心に数量ベースで順調に推移。
- ・半導体製造設備向けの高機能金属製品などは堅調に推移。
- ・不採算事業の整理・改善により収益力が改善。

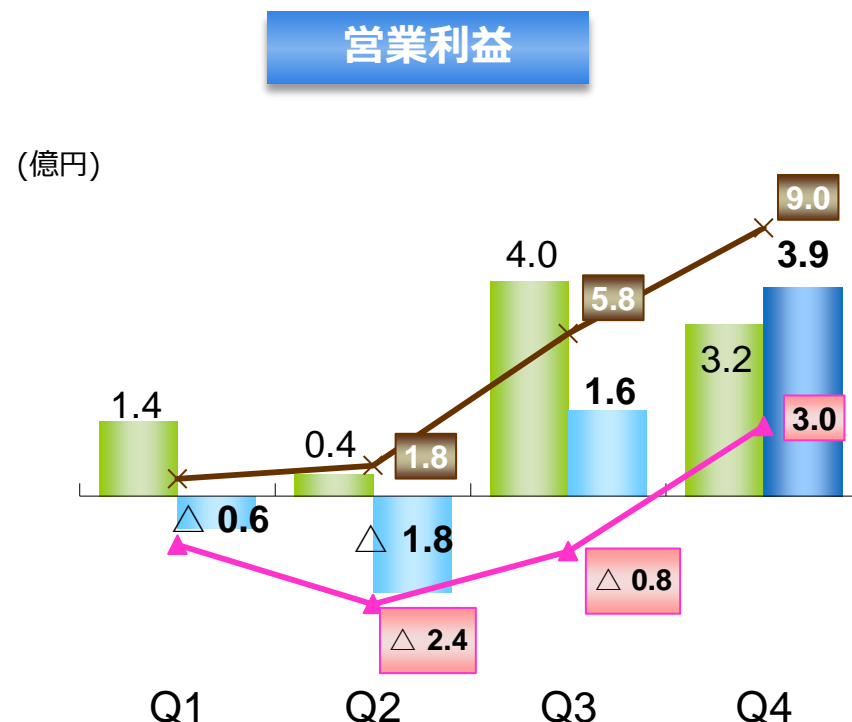
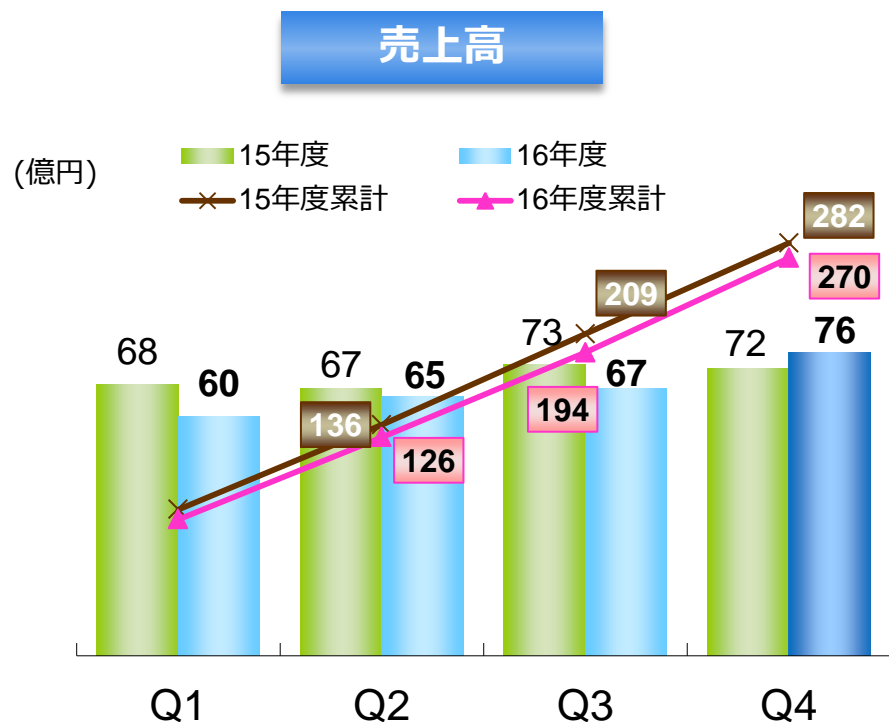
売上高



営業利益



- ・ 決済関連ビジネスを中心としたデータサービス事業やホームセキュリティ向けモバイルソリューション事業が好調に推移。
- ・ 収益性改善に向けた組織体制の強化等により、収益力が大きく改善。



- ・ クロック : 為替の影響により海外向け売上高は伸び悩んだものの、国内向けの売上、利益ともに順調に推移。
- ・ その他 : 設備時計などのタイムシステムは堅調に推移したが、小売事業がインバウンド需要の落ち込みにより売上を落とした。

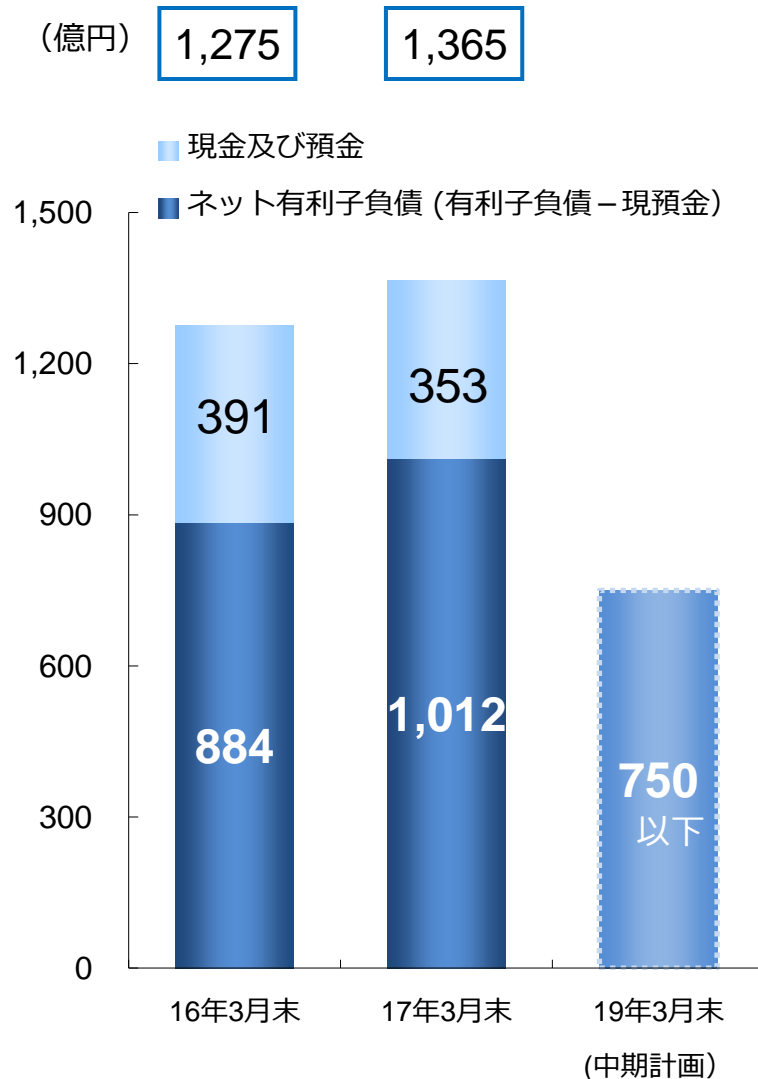
2017年3月末 貸借対照表

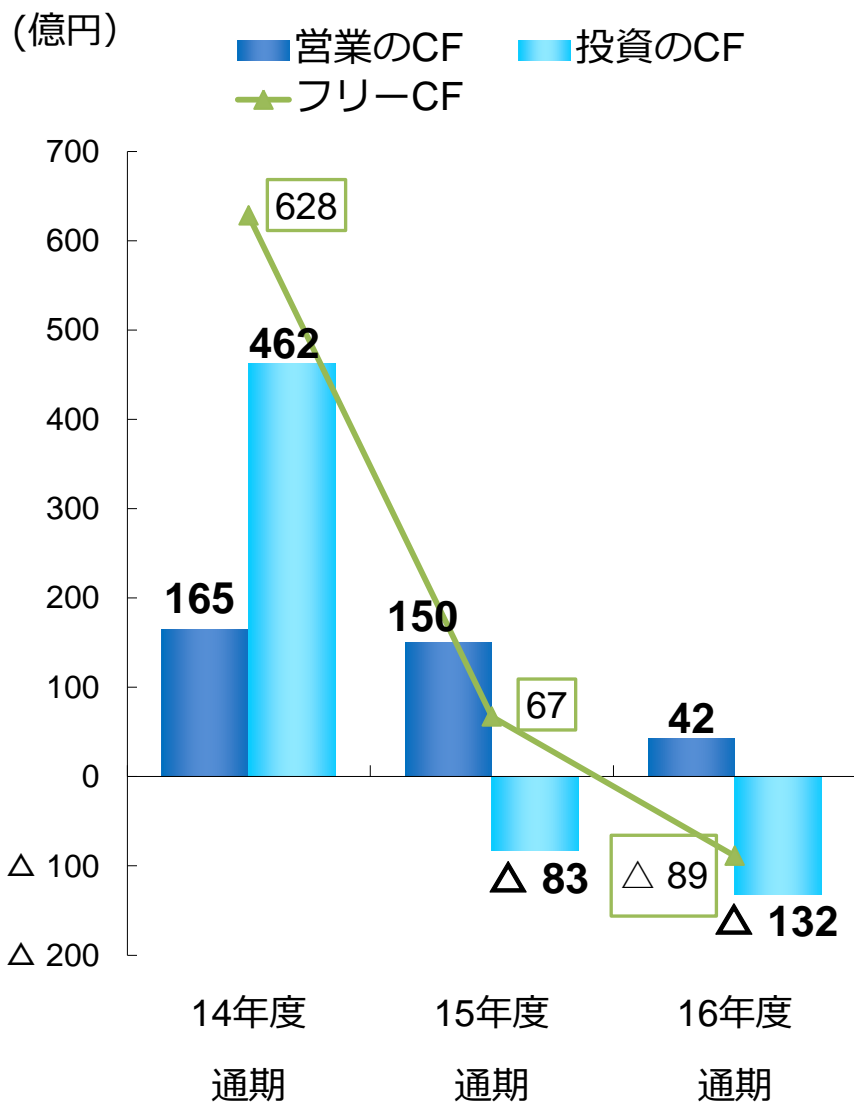
(億円)	2016年 3月末 (a)	2017年 3月末 (b)	増減 (b) - (a)
棚卸資産	651	661	+9
有利子負債	1,275	1,365	+90

純資産	1,026	1,071	+44
総資産	3,291	3,288	△2

自己資本比率	28.7%	29.8%	+1.1p
ネットD/E レシオ	0.8	0.9	+0.1
従業員数	13,437	13,065	△372

有利子負債





	14年度 通期	15年度 通期	16年度 通期
税引前当期純利益	246	88	61
減価償却費	108	103	109
その他	△190	△40	△ 128
営業のキャッシュフロー	165	150	42
有形固定資産の取得	△93	△130	△ 121
その他	556	47	△ 10
投資のキャッシュフロー	462	△ 83	△ 132
借入金の借入・返済収支	△629	△87	88
その他	△38	20	△ 31
財務のキャッシュフロー	△ 668	△ 66	57
換算差額等	17	△14	△ 3
現金及び現金同等物	402	389	353
フリーキャッシュフロー	628	67	△ 89

(3) 2017年度の見通し

課題と取組

◆ 収益力の強化と成長への投資

ウォッチ事業

- ・ グランドセイコーの新ブランド戦略の定着と国内外での売上拡大
- ・ 米国の復活に向けた取組み促進
- ・ 外販ムーブメントビジネスはコストの見直しによる収益性改善

電子デバイス事業

- ・ インクジェットプリントヘッドを中心とする高収益事業へ、経営資源を重点配分

※2018年1月以降、半導体事業の連結範囲離脱を想定

課題と取組

◆ 収益力の強化と成長への投資

システムソリューション事業

- ・ 安定的な収益構造の継続強化
- ・ IIM社とのM&A効果を最大限発揮し、中期経営計画を早期達成

その他事業

- ・ 安定した収益体質の継続
- ・ 収益改善に向け経費のさらなる合理化

課題と取組

◆ 経営基盤の強化

資本政策

- ・ 継続的・安定的な配当の実施
- ・ 有利子負債の削減
- ・ 自己資本比率の改善

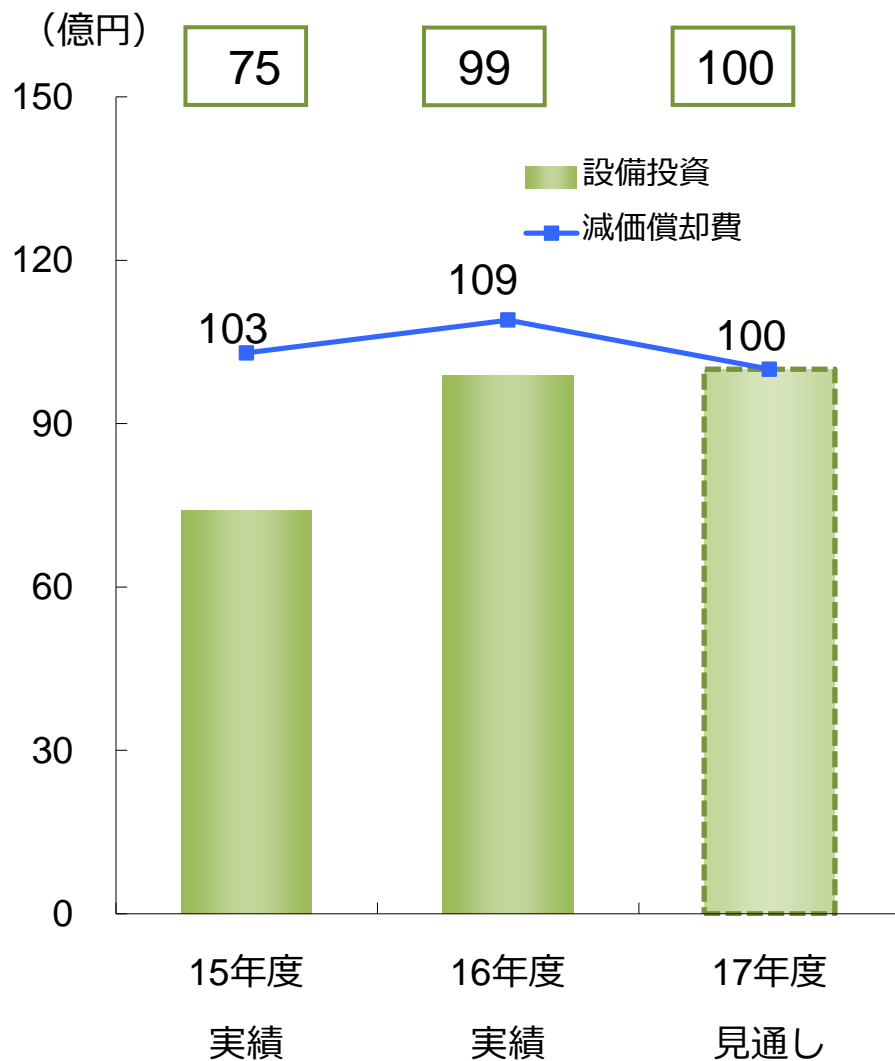
組織・グループ機能の強化

- ・ グローバル人財や次世代を担う幹部候補生の育成、女性活躍推進など、人財育成へのさらなる施策の推進

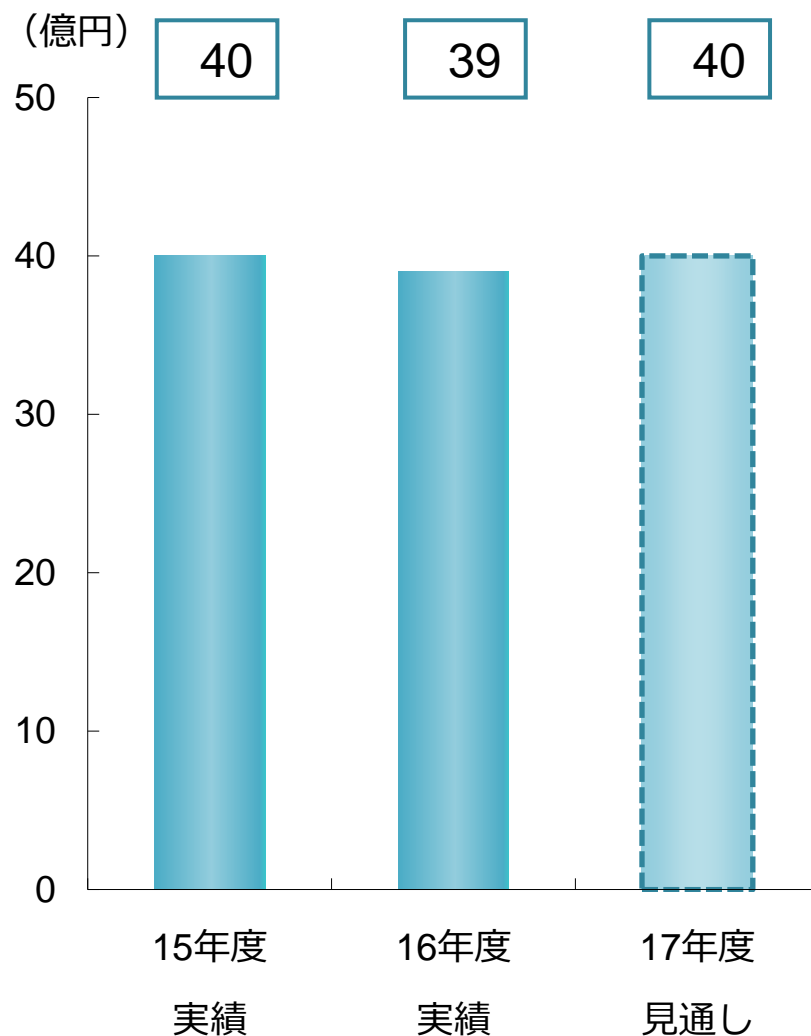
(億円)	16年度 実績	17年度 通期	対前年 増減
売上高	2,571	2,600	+28
営業利益	74	65	△9
%	2.9%	2.5%	△0.4p
経常利益	66	70	+3
%	2.6%	2.7%	+0.1p
親会社株主に帰属 する当期純利益	53	50	△3
%	2.1%	1.9%	△0.2p

(億円)	売上高			営業利益		
	16年度 実績	17年度 見通し	対前年 増減	16年度 実績	17年度 見通し	対前年 増減
ウオッチ	1,345	1,350	+ 4	76	70	△ 6
電子デバイス	840	820	△20	38	35	△ 3
システムソリューション	202	240	+37	12	15	+2
計	2,389	2,410	+20	127	120	△7
その他	270	270	△0	3	5	+1
連結計	2,571	2,600	+28	74	65	△9

設備投資・減価償却費



研究開発費



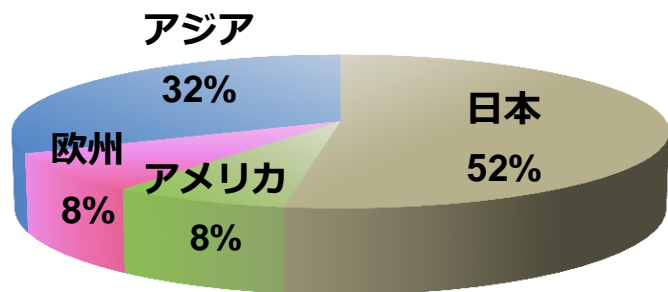
2017年度 為替感応度

	USD	EUR
見込レート	105.0円	115.0円
売上高	約10.0億円	約1.5億円
営業利益	約2.5億円	約0.5億円

2016年度

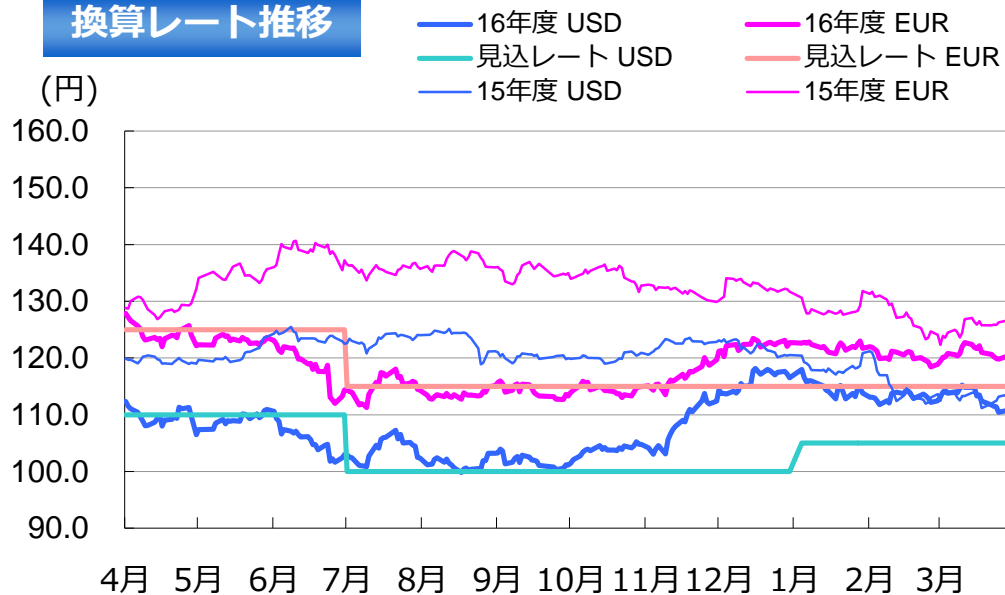
		Q1	Q2	Q3	Q4	年平均
平均 レート	USD	108.0	102.4	109.4	113.6	108.3
	EUR	121.9	114.2	117.8	121.0	118.7
決算日 レート	USD	102.9	101.1	116.5	112.2	-
	EUR	114.3	113.2	122.7	119.7	-

地域別売上高比率



* 2016年度実績値

換算レート推移



◆ 将来見通しに係る注意事項

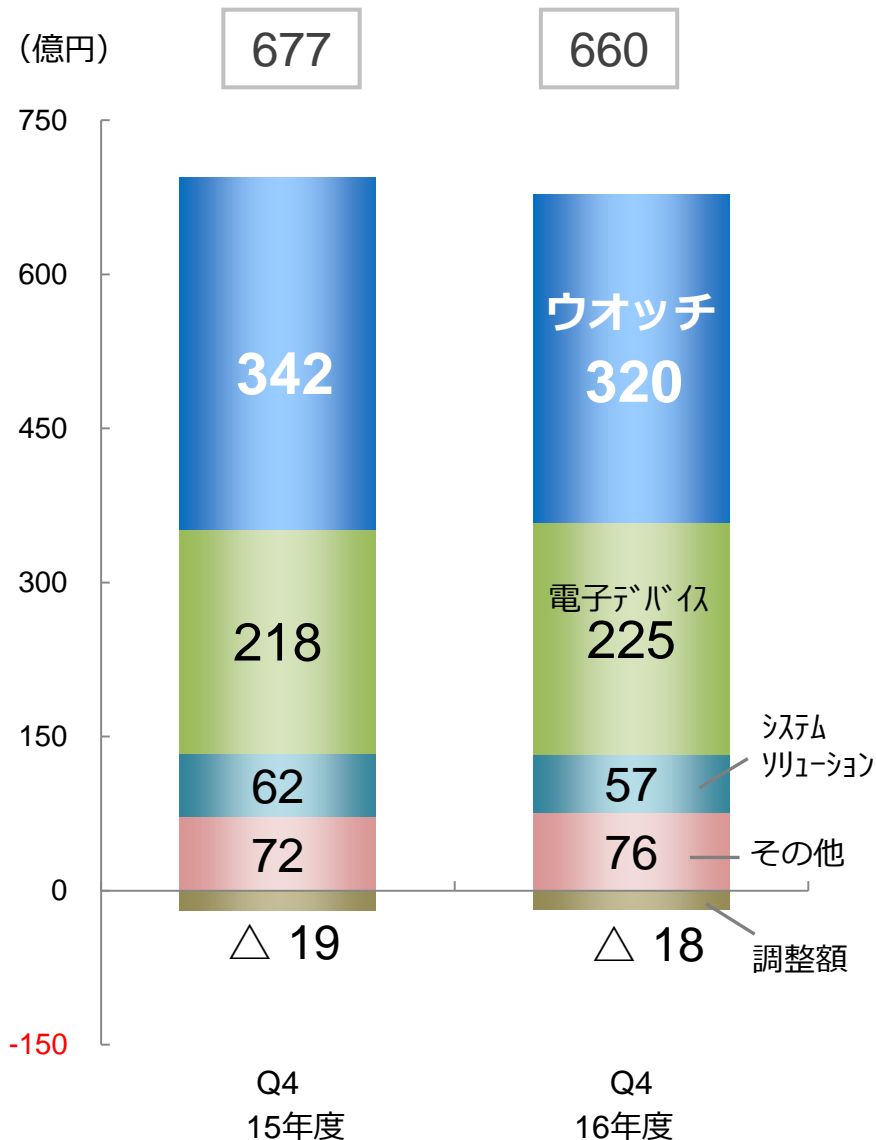
本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 本資料では特に注意書きがない場合、表示単位未満の端数は切り捨てにより表示しております。

参考

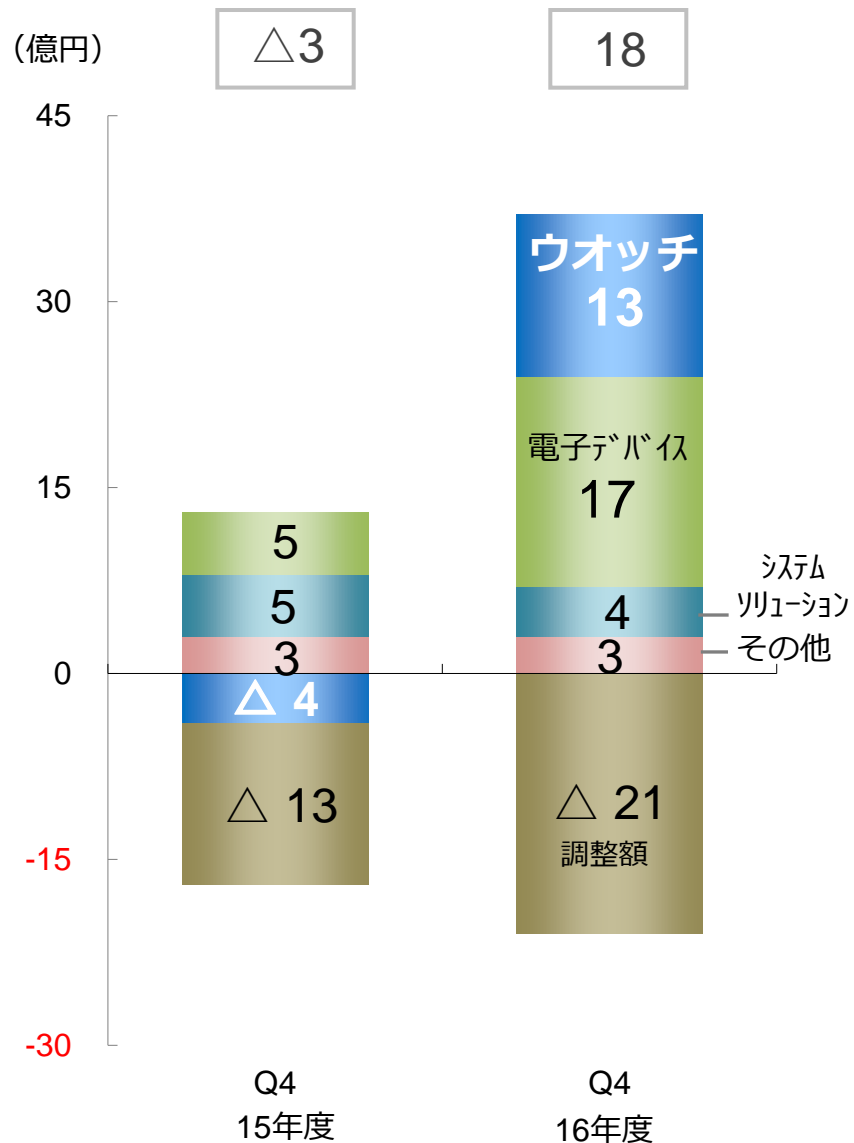
(億円)	15年度 Q4	16年度 Q4	増減			
			増減額	増減比		
売上高	677	660	△16	△2.5%	売上高： 対前年 △16 為替による影響 約△7	
売上総利益	244	247	+2	+1.2%	営業利益： 対前年 +21	
営業利益	△3	18	+21	–	売上総利益増加 + 2 経費減少(販売費等) +18	
%	△0.5%	2.8%	+3.3p	–	経常利益： 対前年 +34	
経常利益	△22	12	+34	–	営業利益増加 +21 為替差損益改善 + 8	
%	△3.3%	1.9%	+5.1p	–	支払利息減少 + 1 持分法投資損益改善 + 3 その他 △ 1	
税前利益	△38	12	+51	–		
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△5	47	+52	–		
%	△0.8%	7.2%	+8.0p	–	特別損益： 0	
換算 レート	USD	115.3	113.6	△1.7	△1.5%	
	EUR	127.1	121.0	△6.0	△4.8%	

事業別売上高 – 第4四半期（期間 1月-3月） –



(億円)	売上高		
	15年度 Q4	16年度 Q4	増減
ウオッチ事業	342	320	△22
電子デバイス事業	218	225	+7
システムソリューション事業	62	57	△5
計	623	603	△20
その他	72	76	+3
調整額	△19	△18	+0
連結計	677	660	△16

事業別営業利益 - 第4四半期 (期間 1月-3月) -



(億円)	営業利益		
	15年度 Q4	16年度 Q4	増減
ウオッチ事業	△4	13	+17
電子デバイス事業	5	17	+12
システムソリューション事業	5	4	△1
計	7	35	+28
その他	3	3	+0
調整額	△13	△21	△7
連結計	△3	18	+21

End
